

第 9 章

広報活動

9.1 インフラ長寿命化センターのパンフレット

本年度はセンターのパンフレットを作成・配布し、周知に努めた。



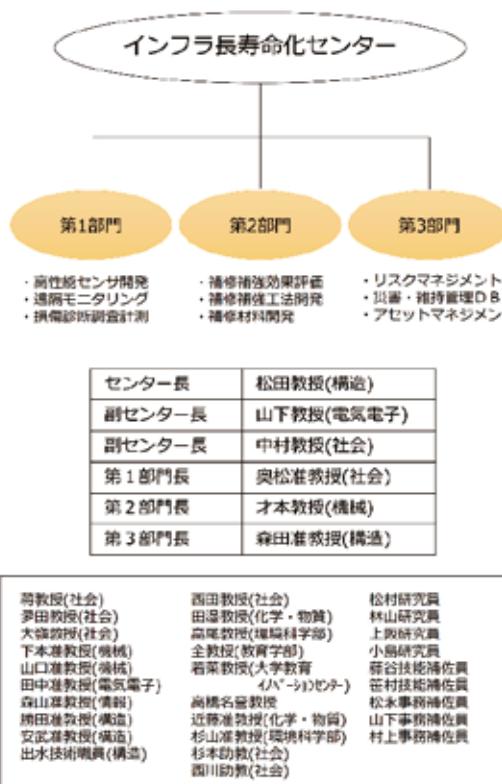
ミッション Mission

道路、河川、港湾などのインフラ構造物の長寿命化に関する研究を行うとともに、地方自治体等への技術支援ならびに教育支援を行う。また、インフラ構造物の長寿命化の研究拠点を形成する。

業務内容 Subjects

- ・インフラ長寿命化に係る研究拠点形成
- ・地方自治体等への技術支援
- ・インフラ長寿命化に係る教育支援・人材育成
- ・その他センターの目的を達成するために必要な業務

組織



活動実績

■外部資金の申請・採択

1) 平成26年度科学研修費補助企画研究分

種目	研究課題名	研究代表者
基盤B	光学的計測技術によるインフラ構造物のミクロ・メゾ・マクロレベルの劣化・健全度評価	松田 浩
基盤B	結晶組成と伸び性能による強力筋の疲労龟裂伝播特性の半導的向上に関する研究	勝田泰一
基盤C	離島地域における小規模複数の実態調査と三次元写真計測・FE解析による健全度評価	森田千尋
基盤C	「震害の痕跡」の災害適応化に関する基礎的研究	安武勝子
基盤C	電磁波を利用したフレッシュコンクリート探査と電磁波レーダ法の改善	田中佳幸
萌芽	MRIと強磁性ナノ粒子による植物内水分補給技術の3次元測定	山口悠哉
萌芽	振動特性計測に基づく新しい樺工コンクリート健全度評価法の提案	脇 宇静
萌芽	光学的手法による仮想足場を設置しない低成本な薄層度検査外観点検システムの開発	松田 浩
萌芽	除染で発生する被覆土壌および有機系廃棄物の安定化技術としての微生物の適用	大前 聖
若手B	光学的計測法を用いたPC構造物の革新的現地作応力測定法の開発	出水 亨

2) 平成26年度文部科学省

「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業

分野: 社会基盤

「長崎の地域特性を考慮したインフラ再生技術者育成のためのカリキュラムの構築」
岐阜大学、長岡技術科学大学、愛媛大学、山口大学と連携して実施。
(平成25年度～)

3) 平成26年度国土交通省建設技術研究開発助成制度、政策課題解決型技術開発公募
(テーマ2: 点検の効率化・省力化と異常検知ルールの向上の両立のための技術開発)
「光学的計測法を用いた効率的・低コストな新しい検査点検手法の開発」
(平成25年度～平成27年度)

■光学的計測法を活用した車輌底面調査・保存プロジェクト

光学的計測技術である3Dレーザースキャナ、UAV、全方位カメラ等を用いて、車輌底を遠隔・非接触計測して、現状をありのままに3Dデータとして記録・保存しています。(平成21年度～)

■工業高校の生徒に対するインフラ長寿命化体験実習及び演習の実施

佐世保・大村・芦町工業高校土木系学科3年生に対して、インフラ長寿命化センターで非破壊試験等の実験演習、また、遵守要件ユニット認定者の指導の下でインターンシップとしての現場実習を実施しています。(平成21年度～)

お問い合わせ先

長崎大学大学院工学研究科
インフラ長寿命化センター

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14
TEL: 095-819-2880 FAX: 095-819-2879
E-mail : michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp
http://michimori.net

9.2 Facebook ページの開設

本センターは、2014年9月にFacebookページを立ち上げた。当センターの出来事や告知をお知らせするだけでなく、「土木」や「インフラ維持管理」関連の情報を紹介し、業界全体の流れをお伝えできるよう更新している。2015年2月13日現在ページをフォローしている人数は273名である。



9.3 ホームページの開設

今まで「道守」のホームページはあったが「インフラ長寿命化センター」のホームページはなかった。当センターは「道守養成」をメイン事業としているが、その他いくつもの事業を抱えている。それが公開されていないのは明らかに機会損失であるとの判断の元、インフラ長寿命化センターで抱えている事業や関連研究を掲載するホームページの立ち上げ作業を現在行っている。

<http://ilem.jp/>

軍艦島 3D の事業紹介ページ

国交省プロジェクトの紹介